

## 6-1 つなげる 広げる たどりつく

〈授業像に込められた願い・・・〉

### 【1回目】

1組ではどんな授業をつくっていきたいかについて、心のノートに自分の思いを書き、一人一人その思いを伝え、教師が黒板に樹形図にまとめていった。

・意見を出し合う ・みんなで話し合う ・自信を持って発表をする というように、発表に関する意見が多く出た中で、

・意見から意見と考える幅を広げたい ・同じ意見なのか違う意見なのか反応がある授業にしたいという、発表から一歩踏み込んだ意見が多く挙がった。その意見に皆が同意し、「意見から意見」「反応」をリレーのように「つなげる」授業にしたいという1つの授業像がつけられた。

また、1つの同じ意見を「つなげる」だけではいけないという意見から、「考えを広げる」という意味で、「広げる」という言葉を採用することになった。

「つなげる」「広げる」とキーワードが挙がったが、「広げたままでいいの？」という問いから、答えや正解を見つけなければいけないという意見がでた。

「見つける」というワードが出てきたが、「いろいろな意見をつなげ、考えを広げるから、見つけるという言葉よりは答えに『たどりつく』方がいい。」という意見に最終的に一致した。

最後は、言葉選びに意識がいったしまったが、「たどりつく」の方が言葉に重みがあり、子供たちの中でも納得がいったようだったので、担任から助言はせず、「つなげる」「広げる」「たどりつく」の3つのキーワードで落ち着いた。

### 【2回目】

3つのキーワードが当てはまる例え（「電線」や「リレー」など）を皆で考えたが、「分かりにくい」「覚えづらい」とのことだったので、初めに考えた3つのキーワードをそのまま授業像にすることに決まった。

### 【具現化のために】

「つなげる」ためには、自分の考えを整理することが必要だと考える。そのため、自分の考えをまとめる時間を充分にとっていきたい。この学年は、4年生の頃から、国語を中心に自分たちで考えをつなげていく授業を行ってきた。そのため、意見のつなげ方は意識付けされている。どのように意見をつなげていくのか再度共有したり、授業の中で価値付けをしたりしながら子供たちの中に浸透するようにしたい。

自分自身、「つなげる」授業を意識しているが、どうしても教師の投げかけによって、児童の意見がなくなってしまうことがある。教師の出所をおさえることが重要である。

また、「広げる」「たどりつく」についても、意見を出しっぱなしにせず、必ず最後のまとめまで終わられるよう教師側の授業配分もおさえていく。